

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 芦田中 学校

年 目	中期経営目標 (※中期経営目標もこれで いくのか、新規の目標を立て るかを検討する。)	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
5	自らの考えを深め、課題 を解決する力を育成する。	★	継続	課題に主体的に取り組み、 解決策を考える力を高める。	課題設定の工夫と言語活動を効果的に仕組み、 解決策を考える力を高める。	「授業で考えることが面白い」「授業で友達と協力してやりとげることが面白い」という生徒の肯定的評価を80%以上にする。									
2	他者への思いやりの心を 育成する。		継続	自己と他者の良いところを認め、 思いやりのある生徒を育てる。	思いやりの心を持って人と接することが できるよう道徳や諸行事で自己を見つめる機会を持つ。	「自分是他の人の役にたった」「自分には良いところがある」「他者の良いところに気づいた」という肯定的評価を80%以上にする。									
5	たくましく生きるための健康・ 体力づくりを推進する。		継続	進んで体力を向上させようとする 生徒を育てる。	生徒が主体的に体を動かすことができ よう、ペアやグループで助け合いながら 生徒にあった課題を解決できる授業を行 う。	「体育の授業で進んで体を動かすことができた」という生徒の肯定的評価を90%以上にする。									
3	地域・保護者から信頼される 学校運営を推進する。		継続	積極的な情報発信で地域・ 保護者から信頼される学校運営をする。	学校での取組や行事の計画、 生徒の校内および地域ボランティア活 動の様子を学校通信・学年通信・HP等 で月1回以上発信する。	「通信やHPで学校や学年の様子、 地域ボランティア活動の様子がよくわ かる」という保護者の肯定的評価の割合 を90%以上にする。									
			新規	教職員の元気が生徒の学びにつな がるような学校運営をする。	年間計画を基に、早めに取り組みを 始めるようにするとともに、データを 共有してお互いに活用する。	「授業づくりを行う時間が確保さ れている」という教職員の肯定的評価 の割合を80%以上にする。									

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。